

医療的ケア児等支援体制構築事業

障がい者支援課

1 背景

医療技術の進歩等を背景に、人工呼吸器を装着している障がい児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障がい児等（医療的ケア児等）が増加している。

そのため、医療機関から在宅への移行が進み、重度在宅児が 400 人程度と推定されているが、支援体制の整備が追いついておらず、安心した生活が営まれる状況となっていない。

2 目的

関係機関が連携することにより、医療的ケア児等が地域で安心して在宅生活ができる環境を整備するため、関係機関による連携体制の構築及び支援人材の育成を行う。

3 事業概要

目的	事業	内容
連携体制の構築	連携推進会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全県及び各圏域における関係機関の連携、情報共有及び協働の取組 ・ 地域課題の把握及び資源の顕在化
支援体制の整備	スーパーバイザーの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携推進会議での専門的見地からの助言 ・ 圏域での支援体制の整備支援 ・ 地域資源の開拓・人材育成支援
㊦ 支援環境の整備	実態調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児の状態、医療の状況等の実態把握
㊦ 支援人材の育成等	支援人材育成【基礎研修】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援に必要となる基礎知識の習得
	コーディネーター養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域での個別支援に必要な知識等の習得
	㊦指導医師育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域での指導役に必要な知識の習得、実習
	㊦看護リーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域での指導役に必要な知識の習得、実習

4 予算要求額 3,163 千円（国補：616 千円、一財：616 千円、基金：1,931 千円）

（単位：千円）

項目	見積額	前年度	増減	内容
連携推進会議の開催 (裁)	8. 報償費：469 9. 旅費：69	469 69	0 0	出席者の報償費・旅費
スーパーバイザーの 設置 (裁)	13. 委託料：694	439	255	会議出席等に要する委託料
実態調査の実施 (臨)	13. 委託料：868	0	868	調査、システム整備のための委託料
支援人材の育成等 (臨)	13. 委託料：1,063	286	777	研修に要する委託料
計	3,163	1,263	1,900	